

トルコ大使 感謝伝える

城南中学生徒にリモートで

駐日トルコ共和国大使館のメルジャン大使は4日、新宮市立城南中学校の生徒（171人）に、昨年発生した「トルコ西部イズミル県地震災害」の義援金に対する感謝を伝えた。大使館と同校をリモートでつなぎ交流。生徒会役員の5人が出席し、お礼を受けた。

メルジャン大使は、義援金がどのように集まったのか各機関を通して調査したところ義援金リストで中学生による支援があったことに感銘。同校もリストにあり、問い合わせたところ、生徒らが中心となって活動に取



募金を集めた方法を聞かれ募金箱を紹介

けなどを質問し、生徒らは緊張していた様子だったがしっかりと質問に受け答えしていた。メルジャン大使は、今回の義援金と同時に、歴史に残っているエルトゥール号遭難事件でも、和歌山県の人に助けてもらった過去があるとして、あらためて感謝を伝えた。生徒会役員らはその思いに対して「自分たちの活動が海を越えてトルコまで伝わってとてもうれしいです」と返した。

募金活動は、生徒会が手作りの募金箱を持って各クラスを訪問。約1週間かけて募金を集め、送金も自分たちで手続きを行った。

生徒会長の小口篤紀く



メルジャン大使の質問にしっかり受け答えした

地震被害で義援金

ん（2年）は「最初は緊張もあったけど、優しく話してくれたのでとても話しやすいかった。募金に對してもこんなに感謝されるんだな、とうれしか

った。これからも活動していきたい。エルトゥール号の話聞いて言葉が分からない中、助けられたことがすごいと思う。それに対して感謝してくれたことに感謝」と語った。（石垣さやか）